



RoboMarketer 株式会社 更新日: 2025/02/20\_ver1





	2
<u>テンプレートご利用の流れ</u>	3
<u>1.利用するテンプレートを選択</u>	6
<u>2.Excel上で、各種設定</u>	11
<u>3.Excel上でコンバージョン設定</u>	15
4.Roboma管理画面「定型テンプレート」で設定する	19
5.各レポートシート詳細	21
6.オリジナルテンプレートの作成方法	40
7.マクロの利用方法MACバージョン	49
8.トラブルシューティング	55





# テンプレートご利用の流れ





## ■ テンプレートの初期設定

- テンプレートのローデータシートには、数値が0のデモデータが入っています
- このデモデータは削除せず、そのままご利用ください
- ファイルをRoboma管理画面でアップロードし、集計後に自動的にローデータが更新されます

## ■ データ反映時の注意点

- ・ データの反映に時間がかかる場合は、上書き保存で更新できます。
  - Windows: Ctrl + S‡−
  - $\circ$  Mac: Command + S $\ddagger$ -
- クリエイティブの画像が表示されない場合は、再計算を試してください
  - Windows: F9‡—
  - Mac:シート左下の「再計算」ボタン、または fn + F9キー

## テンプレートの準備の流れ



- ○1 利用するテンプレートを選択 テンプレートライブラリから、テンプレートをダウンロードする
- ○2 Excel上で、各種設定
  「設定」シートで各種設定を行う
- **03** Excel上で、コンバージョン設定 「設定」シートでコンバージョン設定を行う
- ○4 Roboma管理画面「定型テンプレート」で設定する ファイルを保存後、Roboma管理画面で各種設定を行う





# 1.利用するテンプレートを選択

テンプレートの準備

# テンプレートの種類





- 「初期テンプレート」では、媒体名を変更するだけで各媒体のレポートを作成できます。
- その他、よくご利用いただく媒体ごとの組み合わせや、レポート単位のテンプレートもございます

テンプレート項目	内容
初期テンプレート	媒体を指定しない初期設定のテンプレート
主要媒体組み合わせテンプレート	①Google、Yahoo!、Meta ②Google、Meta ③Meta、X、LINE、TikTok
リスティング広告テンプレート	Google 検索、Yahoo! 検索、Microsoft 検索
Google テンプレート	ディスプレイ、動画、デマンドジェネレーション、P-MAX、検索
Yahoo! テンプレート	Yahoo! ディスプレイ、Yahoo! 検索
各媒体別テンプレート	①Meta ②LINE ③X ④TikTok
レポート単位テンプレート	①媒体毎月次サマリレポート ②クリエイティブレポート





媒体横断、媒体単位のレポートは随時追加予定です。



# テンプレート:媒体単位\_月



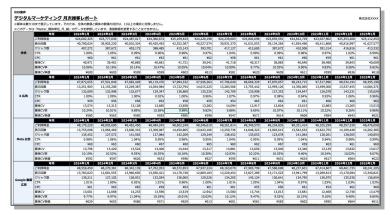


- 媒体単位13ヶ月の月別レポートをまとめたレポートです。
- 縦型、横型の2パターンございます
- CV1のみ対応しており、縦型にはグラフにも対応しています

### ■ 媒体単位\_月\_縦



## ■ 媒体単位\_月\_横



※縦型のレポートを参照しているため、 縦型を削除してのご利用はできません。 縦型が不要な場合は、非表示にしてください。

# 主なメディア(&キャンペーン目的)と、対応レポート表





- 各レポートシートの対応表です。
- 帯色は、テンプレートのシートタブの色に対応しています。

メディア▶ (Googleは キャンペーン目的別)	Google ディ スプレイ	Google 動画	Google 検索	Google デマ ンドジェネ レーション	Google P-MAX	Yahoo! ディ スプレイ	Yahoo! 検索	Meta	Х	LINE	TikTok
シート名略称▶	GDN	Google動画	Google検索	DemandGen	PMAX	YDA	Y検索	Meta	Х	LINE	TikTok
媒体単位_月・日・曜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CP·ADG単位_日別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告単位_通算	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0
クリエイティブ単位_通算	0	0	_	0	_	0	_	0	0	0	0
リンク先単位_通算	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0
プレースメント単位_通算	0	0	_	0	_	0	_	0	0	0	0
時間帯単位_通算	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	0
都道府県単位_通算	0	0	0	0	_	0	0	0	0	0	_
性別・年齢単位_通算	0	0	0	0	_	0	_	0	0	0	0
デバイス単位_通算	0	0	0	0	_	0	0	0	0	_	0
キーワード単位_通算	_	_	0	_	_	_	0	_	_	_	_
クエリ単位_通算	0	_	0	_	_	-	0	_	_	_	_
アセット単位_通算	(レスポンシ	ブ検索、デマン	oogleで1レポー ハドジェネレー: 対応しています	ション、アプリ	キャンペーン	_	-	0	-	-	-





# 2.Excel上で、各種設定

テンプレートの準備





- 「Twitter」「Facebook」「Google ファインド」などの旧媒体名は、集計用のキーとして使用しています
- 表示用の媒体名は、「設定」シートのK列(黄色セル)で変更できます
  - 青文字の媒体名:既に更新済み
  - その他の媒体名: 黄色セルに任意の名称を入力して変更可能

## **■** 設定



### ■ Google

キャンペーン目的別に集計:

SEARCH → Google 検索

DISPLAY → Google ディスプレイ

VIDEO → Google 動画

DEMAND\_GEN → Google デマンドジェネレーション

PERFOMANCE-MAX → Google P-MAX

#### Microsoft

キャンペーン目的別に集計:

SEARCH → Microsoft 検索

DISPLAY → Microsoft ディスプレイ

SHOPPING → Microsoft ショッピング

#### ■ その他のメディア

Yahoo! 検索、Yahoo! ディスプレイ、Meta、LINE、TikTokは、初期設定ではメディア単位で集計していますが、キャンペーン目的別の集計に変更することも可能です。 変更したい場合は、カスタマーサクセスにお問い合わせください。

# 設定 表示名変更





- 「設定」シートのH列で各指標の表示名を変更できます。
- 変更内容は右側の「各レポートシート」に自動反映されます

# <u>■ 設定</u> <u>■ 各レポートシート</u> 表示名を変更可能

名設定		7	年月	表示回数	クリック数	CTR	CPC	ご利用料金
	で字列を入力してくださ		月	5,676,537	55,977	0.99%	¥62	¥3,469,26
	THE RESERVE OF THE PARTY OF THE	018	火	5,629,245	55,337	0.98%	¥58	¥3,212,51
ps	表示回数		水	6,853,781	65,727	0.96%	¥64	¥4,181,48
cks	クリック数		木	6,582,516	59,801	0.91%	¥71	¥4,262,83
R	CTR		金	6,650,429	62,946	0.95%	¥61	¥3,858,61
С	CPC		±	5,400,598	61,369	1.14%	¥49	¥3,035,34
M	CPM		B	4,834,471	52,175	1.08%	¥59	¥3,092,38
1	ご利用料金			1300 5		<u> </u>	5%	
		_	平日	31,392,508	299,788	0.95%	¥63	¥18,984,71
			±Β	10,235,069	113,544	1.11%	¥54	¥6,127,73

※CPMはデフォルトでは非表示ですが、必要に応じて追加できます

## 設定 表紙設定





- 「設定」シートのA・B列で以下の項目を編集できます:
  - タイトル、企業名、自社名
- 表紙には集計期間(2025/01/01 ~ 2025/01/31)と、集計期間の開始月を基準とした年度も表示されます。
- 変更した内容は右側の「表紙」に自動反映されます

## **■** 設定



### ■ 表紙







# 3.Excel上でコンバージョン設定

テンプレートの準備

## 設定 コンバージョン指定





- 設定可能なCVは、CV1~CV10の10個です。
- Roboma管理画面でコンバージョン名を設定し、設定したCV名を「設定」シートのH列に転記してください
- 必要に応じて順序を変更(任意の順序で入力可能)できます。

## ■ Roboma 管理画面



## **■ Excel設定**



## 設定 コンバージョン指定と各レポートのCVR, CPA, ROASについて





- 初期設定では、CV1~9までと、CV10では各レポートシートの計算式が異なります。
- コンバージョン値(売上や購入金額など)の場合は、CV10をご利用ください

11.00%

• CV1はグラフ表示に使用されます

## **■ 各レポートシートのKPI列**

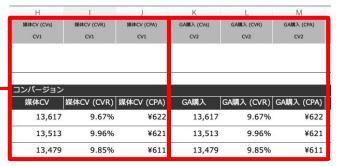
42,000

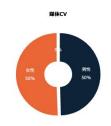
41,000

40,000

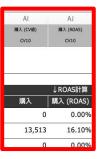
38,000

CV1:CVR & CV2:CVR & CPA





#### CV10:ROAS



### **■ CV設定の使い分け**

<CV1~CV9>

コンバージョン数を集計する場合に使用 各CVに対してCVRとCPAを自動計算

CVR = CV数 ÷ クリック数× 100

CPA = C費用÷CV数

#### <CV10>

コンバージョン値(売上・購入金額)を集計する場合に使用 ROASを自動計算

ROAS = (CV10÷費用)×100

※これらは初期設定の計算式です

#### Excel TIPS

CV1以外は不要であったり、 CV3までしか使わない場合 は、マクロで一括削除ができ ます。不要なCVを削除した い場合は、次項を確認いただ くか、カスタマーサクセスま でご連絡ください。

## CVの列を一括で削除するマクロ



- エクセルのマクロを使って、全てのシートのCVの列を一括で削除することができます。
- 数秒で実行することができ、必要なCV列のみ表示することができます。
- カスタマーサクセスまでご連絡いただければ、御社の必要なレポート形式で作成することができますので、お問い合わせください。

#### ■ CV2からCV10を削除(CV1のみを使用したい場合)

```
'パフォーマンス設定の最適化
  With Application
    .ScreenUpdating = False
     .Calculation = xlCalculationManual
  On Error GoTo ErrorHandler
  Dim ws As Worksheet
  Dim lastColumn As Long
  Dim deletedCount As Long
  Dim processedSheets As Long
  Dim cellValue As String
   *各シートに対して処理を実行
     '使用されている最後の列を取得
    lastColumn = ws.Cells(2, ws.Columns.Count).End(xlToLeft).Column
     '削除する列を格納する節囲
    Set columnsToDelete = Nothing
     '2行目の各列をチェック
      *CV2からCV10を締御
      If cellValue Like "CV[2-9]" Or cellValue = "CV10" Then
         *列を削除対象に追加
       If columnsToDelete Is Nothing Then
          Set columnsToDelete = ws.Columns(i)
          Set columnsToDelete = Union(columnsToDelete, ws.Columns(i))
        deletedCount = deletedCount + 1
    If Not columnsToDelete Is Nothing Then
      columnsToDelete.Delete
      processedSheets = processedSheets + 1
    End If
  Next ws
ExitSub:
'アプリケーション設定を元に戻す
  With Application
    .Calculation = xlCalculationAutomatic
    .EnableEvents = True
     .ScreenUpdating = True
    MsqBox processedSheets & "シートから合計" & deletedCount & "列を削除しました。", vbInformation
   MsgBox "削除対象の列は見つかりませんでした。", vbInformation
  MsgBox "エラーが発生しました: " & Err.Description & vbNewLine & _
      "エラー発生箇所: " & Erl. vbCritical
  Resume ExitSub
```

#### ■ CV2からCV9を削除(CV1と、CV10/ROAS計算を使用したい場合)

```
Sub DalateCV2ToCV9Columne(
 *パフォーマンス設定の最適化
 With Application
   .ScreenUpdating = False
 End With
 On Error GoTo Error Handle
 Dim lastColumn As Long
 Dim i As Long
 Dim processedSheets As Long
 Dim cellValue As String
 *各シートに対して処理を実行
 For Each ws In ThisWorkbook, Worksheets
    '使用されている最後の列を取得
   lastColumn = ws.Cells(2, ws.Columns.Count).End(xlToLeft).Column
   "削除する列を格納する範囲
   Dim columneToDelete As Pano
   Set columnsToDelete = Nothing
    12行目の各列をチェック
   For i = lastColumn To 1 Step -1
     cellValue = Trim(ws.Cells(2, i).Text)
      *CV2からCV9のみを検索(CV10は除外)
     If cellValue Like "CV[2-9]" Then
        列を削除対象に追加
         Set columnsToDelete = ws.Columns(i)
         Set columnsToDelete = Union(columnsToDelete, ws.Columns(i))
       deletedCount = deletedCount + 1
     End If
   '列の削除を実行
   If Not columnsToDelete Is Nothing Then
    columnsToDelete.Delete
    processedSheets = processedSheets + 1
  *アプリケーション設定を元に戻す
With Application
.Calculation = xlCalculationAutomatic
   .EnableEvents = True
   .ScreenUpdating = True
 "結果を表示
If deletedCount > 0 Then
   MsgBox processedSheets & "シートから合計" & deletedCount & "列を削除しました。", vbInformation
   MsqBox "削除対象の列は見つかりませんでした。", vbInformation
MsgBox "エラーが発生しました: " & Err.Description & vbNewLine & _
"エラー発生箇所: " & Erl, vbCritical
 Resume ExitSub
```

Excel TIPS マクロのコード内容を変更 することで、CV3以降など の調整も可能です





# 4.Roboma管理画面「定型テンプレート」で 設定する

テンプレートの準備





- 左のメニュー「定型テンプレート」>「設定一覧」の「新規作成」を選択してください
- 保存したファイルを「テンプレート選択」の「ファイルを選択」からアップロードしてください
- 下部にある「保存」で保存後、一覧から「実行」を行なってください。

### **■ Roboma 管理画面**







# 5.各レポートシート詳細



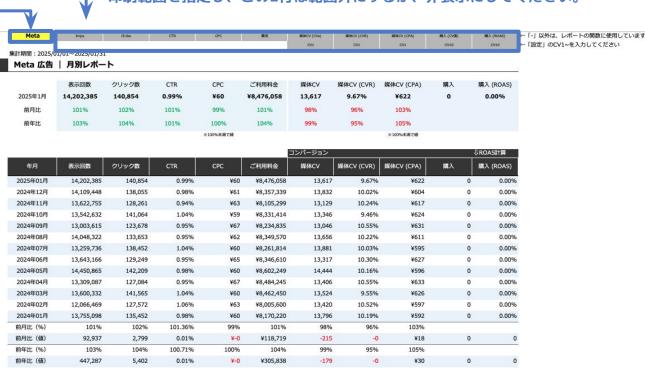


B1が黄色のセルになっている レポートシートは、 媒体名を入力すると、その媒体の レポートが出力されます

#### 媒体例

Google デマンドジェネレーション Google ディスプレイ Google P-MAX Google 動画 Google 検索 Google DV360 Google その他 Yahoo! ディスプレイ Yahoo! 検索 Yahoo! アプリ検索 Microsoft ディスプレイ Microsoft 検索 Microsoft ショッピング Meta LINE TikTok Pinterest Ads Apple Search Ads **SmartNews** Criteo Tahoola Outbrain

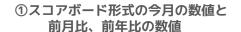
集計するためのキーとなる行です。この2行は削除しないでください。 レポートを印刷もしくはPDFにする際などは、 印刷範囲を指定し、この2行は範囲外にするか、非表示にしてください。



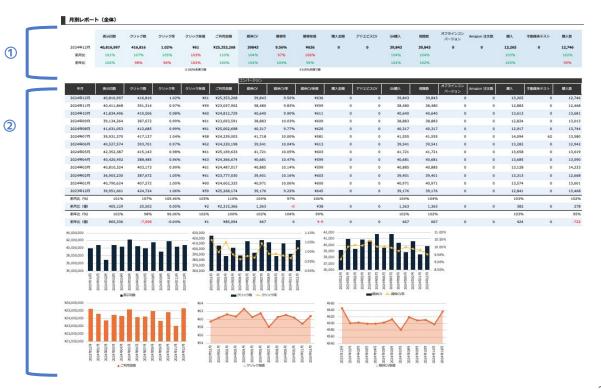




- 「全体\_月・日・曜」のシートでは、月別レポート(全体)、日別レポート(全体)、曜日別レポート(全体)、 媒体別レポートがあります。
- 月別レポートは、全媒体の数値を合算したレポートです。



②13ヶ月分のデータを月別で表示



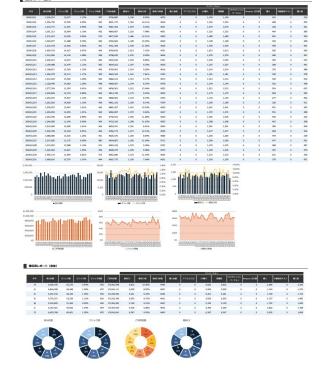


- 日別レポートは、全媒体の数値を合算した最大31日分の日別データです。
- 曜日別レポートは、全媒体の数値を合算した集計期間中の曜日別のデータです。

①集計期間中の最大31日分の日別データ

(1)

②集計期間中の曜日別データ



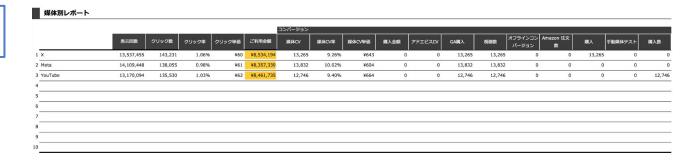
# 全体\_月・日・曜





- 軟体別レポートは、集計期間中の各媒体ごとのレポートです。
- 「月別の媒体別レポート」では、月毎の数値となりますが、 本レポートでは、例えば、11/5から12/20など、月をまたいだ集計期間の場合などにご利用いただけます。

集計期間中の媒体別のデータ
月を跨いだ集計が可能



# 媒体横断\_当月前月





- 媒体毎の、当月と前月のレポートです。
- それぞれ、「費用」が多い順に並んでいます。





②前月の数値



(1)







GAME A.

# 媒体横断\_当月前月

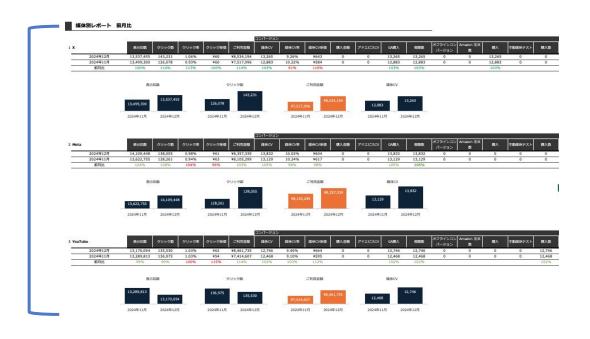




- 媒体毎の、当月と前月のレポートです。
- それぞれ、「費用」が多い順に並んでいます。

媒体毎の、当月・前月の数値と 前月比のデータ

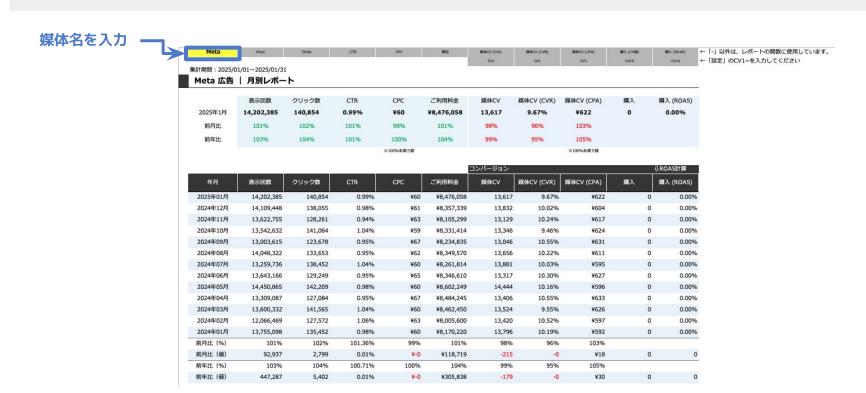
当月の媒体をベースとしており、 最大10媒体分を表示 (当月にはないが、前月にはある媒体は 表示なし)







媒体単位の月別、日別、曜日別レポートです。



## CP·ADG単位 媒体横断





媒体を横断したキャンペーン・広告グループ単位のレポートです。



なお「CP・ADG単位\_日別\_部分一致」シートと連動しているため、30件以上表示した場合はエラーが発生する可能性があり、その場合は「CP・ADG単位\_日別\_部分一致」シートの必要な箇所に行を追加。

5)	媒体CV (CVR)	媒体CV (CPA)	購入 (CV值)	順入 (ROAS)			
	CV1	CV1	CV10	CV10			

#### 広告 | キャンペーン&広告グループ別レポート(媒体横断)

プポリカロソト事子したい場合は 10以降に行を挿入してください

集計期間: 2025/01 01~2025/01/31

上位 30 件表示		- 10							コンバージョン	/			
メディア名	キャンペーン名	広告グループ名	キャンペーン目的	表示回数	クリック数	CTR	CPC	ご利用料金	媒体CV	媒体CV (CVR) 划	某体CV (CPA)	購入	購入 (ROA
х	Campaign_000	AdGroup_002	video_views	7,200,580	66,182	0.92%	¥65	¥4,304,493	6,852	10.35%	¥628	6,852	0.16
Meta	Campaign_000	AdGroup_001	video_views	6,960,353	69,417	1.00%	¥61	¥4,247,349	6,418	9.25%	¥662	0	0.00
Meta	Campaign_000	AdGroup_000	video_views	7,242,032	71,437	0.99%	¥59	¥4,228,709	7,199	10.08%	¥587	0	0.00
Google 動画	Campaign_000	AdGroup_004	video	6,718,486	70,254	1.05%	¥59	¥4,159,214	6,669	9.49%	¥624	0	0.00
х	Campaign_000	AdGroup_003	video_views	6,883,791	69,442	1.01%	¥59	¥4,090,698	6,661	9.59%	¥614	6,661	0.16
Google 動画	Campaign_000	AdGroup_005	video	6,622,335	66,600	1.01%	¥61	¥4,081,991	6,810	10.23%	¥599	0	0.00
H													
<u>a</u>													
77													
	•		•										

## CP·ADG単位 日別 部分一致





- 「CP・ADG単位\_媒体横断」の一覧から、メディア名、キャンペーン名、広告グループ名を条件として 絞り込んだ結果を、合計値と日別で表示するレポートです。
- たとえば、複数の広告グループ名に含まれる「ブランドワード」などの共通文字列で絞り込むことで、 関連する広告グループの統合レポートを作成できます。

メディア名(完全一致)、キャンペーン名(部分一致)、広告グループ名(部分一致)の条件で、絞り込みができます。



※「CP・ADG単位\_媒体横断」の件数が30件を超える場合は、このシートの行数も追加する必要があります。 デフォルトでは30行分に対応していますので、40行目以降に任意の行数を追加してください。

## クリエイティブ単位\_通算\_media 1~5





- B1セルに媒体名を入力しご利用ください。
- クリエイティブレポートは、画像、テキスト、ボタンの組み合わせごとに広告素材の実績を集計しています。
- なお、テンプレートには5つのレポートシートが用意されており、各シートには費用順に最大10個のクリエイティブ画像 が表示されます。



- クリエイティブレポートは、B1セルの媒体切り替えをした場合に、切り替え前の画像が残ることがあります。 そのため、出力後の黄色セルの変更は推奨していません。
- シート数を6つ以上増やしたい場合は、別途取扱説明書をご確認ください。
- **●** クリエイティブ数を11個以上増やしたい場合は、別テンプレート「広告クリエイティブレポート」のご利用を推奨しています。
- LINEの動画素材については、サムネイル表示に対応していないため、表示されません。

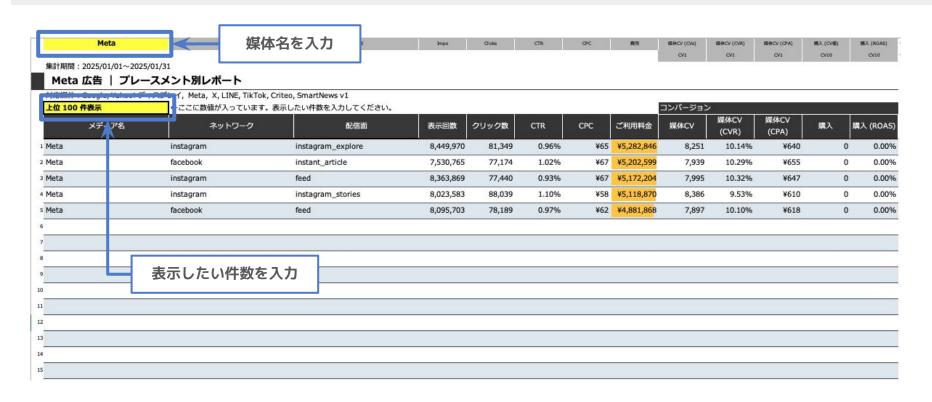
0.00%

# 広告単位、リンク先単位、プレースメント単位、その他単位





- B1セルに媒体名を入力しご利用ください。
- その下の黄色セルの表示する件数を入力することで、表示件数を調整できます。

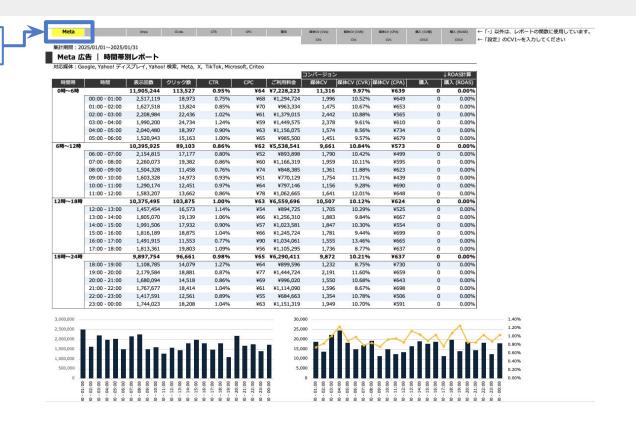


媒体名を入力





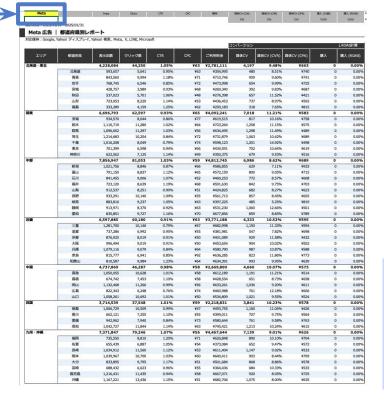
- B1のセルに媒体名を入力してご利用ください。
- 1時間ごとの詳細な数値と、6時間ごとの合算値をご確認いただけます。





- B1のセルに媒体名を入力してご利用ください。
- 47都道府県別の数値とエリアごとの合算値をご確認いただけます。
- なお、「その他」「不明」および国外の数値は初期設定では非表示となっております。これらの数値の表示をご希望の場合は、お問い合わせください。

媒体名を入力



#### ■ よくあるご質問

Googleの都道府県別レポートは、管理画面と異なる場合がございます。Robomaでは都道府県別レポートは、地域(ユーザーの所在地)ベースで出力をしています。
<詳しくはこちら>

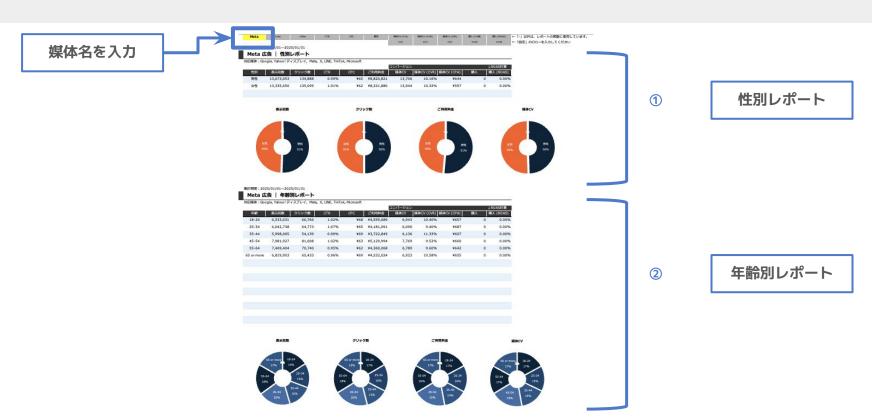
https://roboma.zendesk.com/hc/ja/articles/4648876495262

# 性別·年齡単位\_通算\_media





- B1のセルに媒体名を入力してご利用ください。
- 媒体毎に、性別区分(「その他」や「不明」といった表記)や、年齢の区分が異なります。



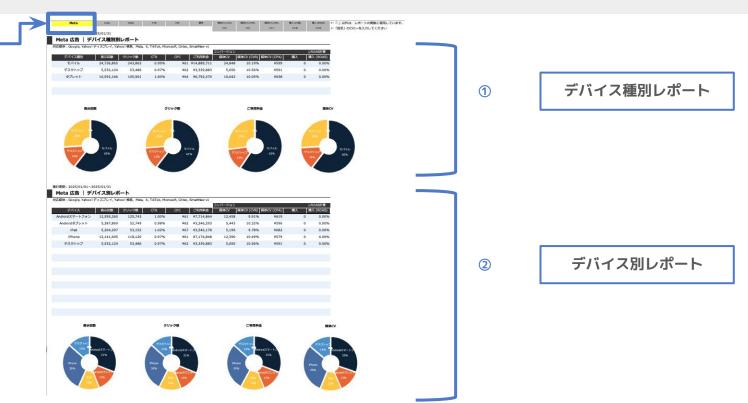
## デバイス単位 通算 media

媒体名を入力





- B1セルに媒体名を入力していただくことで、2種類のデバイス分析レポートをご利用いただけます。
- デバイス種別レポートは、モバイル、デスクトップ、タブレットなどカテゴリー別の分析となります。
- デバイス別レポートは、iPhone、Androidなど具体的な機種別の分析となります。

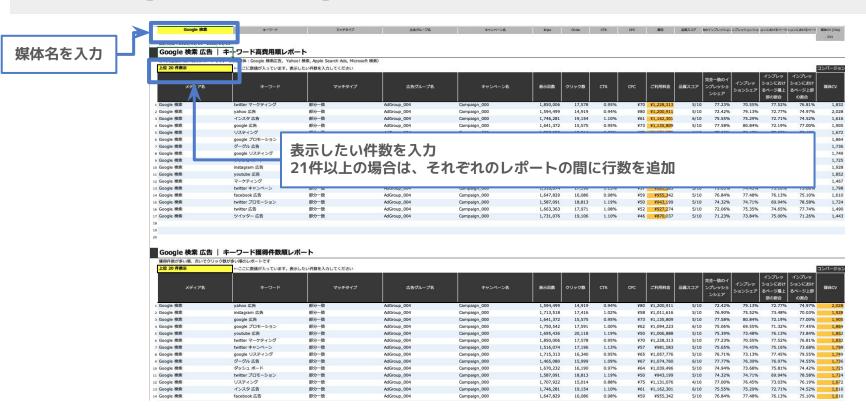


# キーワード単位 通算 media





- キーワードレポートには以下の5種類があり、それぞれ上位20件を表示しています。
- 広告費用の最適化に役立つ「費用順」「CV獲得件数順」「低CPA順」レポートと、改善が必要な項目を特定するための 「高CPA順」「CV0件かつ高費用順」レポートをご用意しています。







- B1のセルに媒体名を入力してご利用ください。
- その下の黄色セルに数値を入れることで、表示する件数を指定できます。







- GoogleとMetaのアカウントに対応しています
- 黄色セルのリストからアセットタイプを選択できます
- 初期設定は「すべて」となっており、全アセットタイプが表示されます







# 6.オリジナルテンプレートの作成方法

# 初期テンプレートを活用して、オリジナルのテンプレートを作る方法





- 初期テンプレートは、各シートを複製してご利用いただけます。
- 媒体名を入力し、シート名を変更し、ご利用ください
- マクロを使用すると、数分でオリジナルテンプレートを作成できます ※シートの手動複製よりも効率的です



### ■ 複数媒体への対応方法

<u>1. シートの見分け方</u>

シート名に「\_media」が含まれているものが媒体対応用シートです

### <u>2. 設定手順</u>

- ①「\_media」シートを複製
- ②シート名の「\_media」を媒体名に変更

(例:「\_Meta」)

③B1の黄色セルに対応する媒体名を入力

(例:「Meta」)

### Excel TIPS

シートを複製する簡単な方法:

・Windows:シートを選択し、

「Ctrl」キーを押しながら左右にドラッグ

・Mac:シートを選択し、

「Option」キーを押しながら左右にドラッグ

### (参考) シートをコピーするマクロ



- シートをコピーするマクロ
- ・「\_media」のシートが対象
- ・主なメディア(&キャンペーン目的)のレポートが対象
- ・表記内容
- ※右のコードの必要な媒体のみを残してご利用ください
- ※最後の媒体の末尾は「, \_」ではなく「\_」としてください

B1セルに入力される媒体名	シート名(_mediaの部分)
Google ディスプレイ	GDN
Google 動画	G動画
Google 検索	G検索
Google デマンドジェネレーション	DemandGen
Google P-MAX	PMAX
Yahoo! ディスプレイ	YDA
Yahoo! 検索	Y検索
Meta	Meta
X	X
LINE	LINE
TikTok	TikTok

```
Sub CopyMediaSheets()
'パフォーマンス設定
        .ScreenUpdating = False
.EnableEvents = False
        .Calculation = xlCalculationManual
        .DisplayAlerts = False
    *メディアの定義 (メディアタ シート名用略称 除外するシートタ)
   Dim mediaSettings As Variant
       Array("Google ディスプレイ", "GDN", Array("キーワード単位_通算")),
      Arsy(Coogle ディスプレイ)、(ORI) Arroy(モーノント900_世間 ))、 Deal 通知)。
Array(Coogle 連貫 Array(エーター) 中枢上週間 (基準)。
Array(Coogle ディンドリエスレージョン("Demandorin") Array(Coogle ディンドリスをは、1度で、リンスをは、1度で、1、
Array(Coogle ディンドリエスレージョン("Demandorin") Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("Array("
位_通算", "キーワード単位」通算", "クエリ単位」通算")),
        Array("Yahoo! ディスプレイ", "YDA", Array("キーラード単位、通算", "クエリ単位、通算")),
Array("Yahoo! 検索", "Yahoo検索", Array("性別・年齢単位 通算", "プレースメント単位 通算", "リンク先単位 通算")), _
        Array("TikTok", "TikTok", Array("都道府県単位_通算", "キーワード単位_通算", "クエリ単位_通算")) _
    '各シートをチェック
    Dim ws As Worksheet
   For Each ws In ThisWorkbook, Worksheets
            _mediaで終わるシートを探す
        If Right(ws.Name, 6) = "_media" Then
            Dim baseName As String
            baseName = Left(ws.Name, Len(ws.Name) - 6)
              '各メディアについて、除外リストをチェックしてシートを作成
            Dim media As Variant, i As Long
            Dim firstMediaProcessed As Boolean
             firstMediaProcessed = False
            For i = 0 To UBound(mediaSettings)
               If Not IsSheetExcluded(baseName, media(2)) Then
                   If Not firstMediaProcessed Then
                           ・最初の該当メディアで_mediaシートを更新
                         ws.Range("B1").Value = media(0)
ws.Name = baseName & " " & media(1)
                          firstMediaProcessed = True
                   Else

'2番目以降のメディアは新規シートを作成
                          ActiveSheet Name - haseName 8 " " 8 media/1
                          ActiveSheet.Range("B1").Value = media(0)
   Next ws
     ・設定を元に戻す
    With Application
        .Calculation = xlCalculationAutomatic
        .EnableEvents = True
        .DisplayAlerts = True
   MsgBox "シートのコピーが完了しました。", vbInformation
Private Function IsSheetExcluded(baseName As String, exclusions As Variant) As Boolean
   IsSheetExcluded = False
   For Each exclusion In exclusions
       If baseName = exclusion Then
IsSheetExcluded = True
           Exit Function
    Next exclusion
End Function
```

# (参考) シートの色分けマクロ



- シートの色分けマクロ
- ・シート名に含まれている名前で色分け
- ・主なメディア(&キャンペーン目的)のレポートが対象
- ・「クリエイティブ単位\_media」もあらかじめ名称変更を推奨
- ・色分け内容

B1セルに入力される媒体名	シート名(_mediaの部分)
Google ディスプレイ	GDN
Google	Google
Google 動画	G動画
Google 検索	G検索
Google デマンドジェネレーション	DemandGen
Google P-MAX	PMAX
Yahoo! ディスプレイ	YDA
Yahoo! 検索	Y検索
Meta	Meta
X	X
LINE	LINE
TikTok	TikTok

```
Sub ColorSheetTabs()
  画面更新を無効化
  Application.ScreenUpdating = False
 Dim ws As Worksheet
 For Each ws In ThisWorkbook, Worksheets
   If ws.Visible = xISheetVisible Then
     Select Case True
        Case InStr(ws.Name, "_GDN") > 0
          ws.Tab.Color = RGB(255, 200, 200) '赤系
        Case InStr(ws.Name, "_Google動画") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(255, 220, 180) 'オレンジ系
       Case InStr(ws.Name, "_DemandGen") > 0
          ws.Tab.Color = RGB(255, 255, 180) ' 黄色系
       Case InStr(ws.Name, " PMAX") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(200, 255, 200) '線系
        Case InStr(ws.Name, "_Google検索") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(180, 255, 255) '水色系
        Case InStr(ws.Name, "_Google") > 0
          ws.Tab.Color = RGB(255, 255, 180) ' 黄色系
       Case InStr(ws.Name, "_YDA") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(200, 200, 255) '青系
        Case InStr(ws.Name, "_Yahoo検索") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(220, 200, 255) ' 紫系
        Case InStr(ws.Name, "_Meta") > 0
                                   ws.Tab.Color = RGB(200, 220, 255) ' 薄い青系
       Case InStr(ws.Name, "X") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(220, 220, 220) 'グレー系
        Case InStr(ws.Name, "_LINE") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(200, 255, 220) '青緑系
       Case InStr(ws.Name, "_TikTok") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(255, 210, 220) ' 桃色系
        Case InStr(ws.Name, "_MS検索") > 0
         ws.Tab.Color = RGB(240, 210, 255) '薄紫系
          'その他のシートは色を設定しない
     End Select
   End If
  Next ws
  '画面更新を有効化
  Application.ScreenUpdating = True
 MsqBox "シートタブの色分けが完了しました。", vbInformation
End Sub
```

## (参考) シートの並び替えマクロ





### ■ シートの並び替えマクロ

並び替えに対応していないシートもあるのでそのシートのみ手動

·固定順序

表紙

設定

全体\_月・日・曜

媒体横断\_当月前月 CP·ADG単位\_媒体横断

CP·ADG单位 日別 部分一致

### ・その後に来る順序

媒体単位\_月・日・曜 \_

CP·ADG単位日別

広告単位\_通算 \_

クリエイティブ単位\_通算 \_

リンク先単位\_通算 \_

プレースメント単位\_通算 \_

アセット単位\_通算 \_

時間帯単位\_通算 \_

都道府県単位\_通算\_

性別・年齢単位\_通算 \_ デバイス単位\_通算 \_

キーワード単位\_通算\_

クエリ単位\_通算 \_



## (参考)シートの一覧作成





### ■ シートの一覧作成マクロ

- ・あらかじめ「一覧」という名前のシートを作成
- ·B2に「シート名」C2に「リンク」というラベル
- ・その下に、シート名一覧と、リンク先を生成

シート名	リンク
表紙	→表紙
設定	→設定
全体_月・日・曜	→全体_月・日・曜
媒体横断_当月前月	→媒体横断_当月前月
CP·ADG単位_媒体横断	→CP·ADG単位_媒体横断
CP·ADG単位_日別_部分一致	→CP・ADG単位_日別_部分一致
媒体単位_月·日·曜_G動画	→媒体単位_月・日・曜_G動画
CP·ADG単位_日別_G動画	→CP・ADG単位 日別 G動画
広告単位_通算_G動画	→広告単位 通算 G動画
クリエイティブ単位_通算_G動画	→クリエイティブ単位 通算 G動画
リンク先単位_通算_G動画	→リンク先単位 通算 G動画
プレースメント単位_通算_G動画	→プレースメント単位 通算 G動画
時間帯単位_通算_G動画	→時間帯単位 通算 G動画
都道府県単位_通算_G動画	→都道府県単位 通算 G動画
性別・年齢単位_通算_G動画	→性別・年齢単位 通算 G動画
デバイス単位_通算_G動画	→デバイス単位 通算 G動画
アセット単位_通算_Google	→アセット単位 通算 Google
媒体単位_月·日·曜_Meta	→媒体単位_月・日・曜_Meta
CP·ADG単位_日別_Meta	→CP・ADG単位 日別 Meta
広告単位_通算_Meta	→広告単位 通算 Meta
クリエイティブ単位_通算_Meta	→クリエイティプ単位_通算_Meta
リンク先単位_通算_Meta	→リンク先単位 通算 Meta
プレースメント単位_通算_Meta	→プレースメント単位 通算 Meta
アセット単位_通算_Meta	→アセット単位 通算 Meta
時間帯単位_通算_Meta	→時間帯単位 通算 Meta
都道府県単位_通算_Meta	→都道府県単位 通算 Meta
性別·年齢単位_通算_Meta	→性別・年齢単位 通算 Meta
デバイス単位_通算_Meta	→デバイス単位 通算 Meta

```
Sub CreateVisibleSheetList()
'アプリケーション設定の最適化
 With Application
   .ScreenUpdating = False
.EnableEvents = False
    .Calculation = xlCalculationManual
 On Error Resume Next
  Set listSheet = ThisWorkbook.Sheets("一覧")
 On Error GoTo 0
 If listSheet Is Nothing Then
   Set listSheet = ThisWorkbook.Sheets.Add(Before:=ThisWorkbook.Sheets(1))
listSheet.Name = "一號"
  ・表示シートの情報を配列に格納
 Dim sheetCount As Long
 sheetCount = 0
  *表示シートの数を取得
 Dim ws As Worksheet
  If ws.Name <> "一歌" And ws.Visible = xISheetVisible Then
      sheetCount = sheetCount + 1
 Next ws
  '配列のサイズ設定
  ReDim visibleSheets(1 To sheetCount)
  *表示シート名を配列に格納
 Dim i As Long
 For Each ws In ThisWorkbook.Worksheets
  If ws.Name <> '一覧' And ws.Visible = xISheetVisible Then 
visibleSheets(i) = ws.Name
  End If
 Next ws
  'データ範囲をクリア (既存の範囲がある場合のみ)
 If Not listSheet.UsedRange Is Nothing Then
    listSheet.UsedRange.ClearContents
 On Error GoTo 0
  'ヘッダーの設定
   .Range("B2").Value = "シート名"
   Range("C2").Value = "リンク"
Range("B2:C2").Font.Bold = True
  'シート名を書き込み
 For i = 1 To sheetCount
listSheet.Cells(i + 2, 2).Value = visibleSheets(i)
  *C列にHYPERLINK開教を設定
 Set formulaRange = listSheet.Range(listSheet.Cells(3, 3), listSheet.Cells(sheetCount + 2, 3))
    listSheet.Cells(i + 2, 3).Formula = "=HYPERLINK(""#"" & B" & (i + 2) & " & ""!A1"", B" & (i + 2) & ")"
  ・列幅の服整(必要な場合のみ)
 If listSheet.Columns("B").ColumnWidth < 5 Or listSheet.Columns("C").ColumnWidth < 5 Then
 listSheet.Activate
listSheet.Range("B3").Select
  ・アプリケーション原常を示に見す
 With Application
   .Calculation = xlCalculationAutomatic
    .ScreenUpdating = True
 MsgBox "表示シートの一覧を作成しました。", vbInformation
```

# クリエイティブレポートのシート追加方法1





①「クリエイティブ単位\_通算\_media2」のシートをコピーします



②シート名を「クリエイティブ単位\_通算\_media3」に変更します



### **★Excel TIPS**

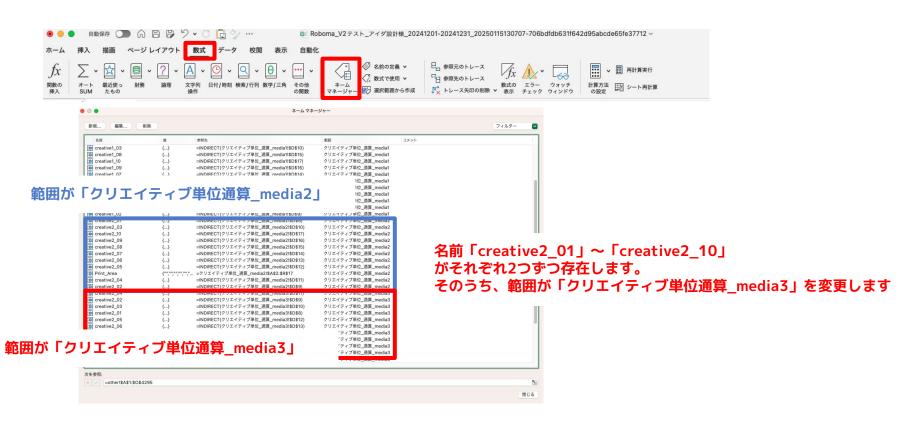
コピーしたいシートを選択 し、「option」キーを押した 状態で、左右どちらかにド ラッグすると、コピーができ ます

## クリエイティブレポートのシート追加方法2





③数式メニューの「ネームマネージャー」を開き、範囲が「クリエイティブ単位通算\_media3」のものを確認します





④変更したいものをダブルクリックし、名前を「creatice2\_01」から「creatice3\_01」に変更します ネームマネージャーで名前を変更することで、レポートの画像の関数名が変更されますので、 同様に、「creatice2\_01」から「creatice2\_10」までを変更してください。これで終了です。







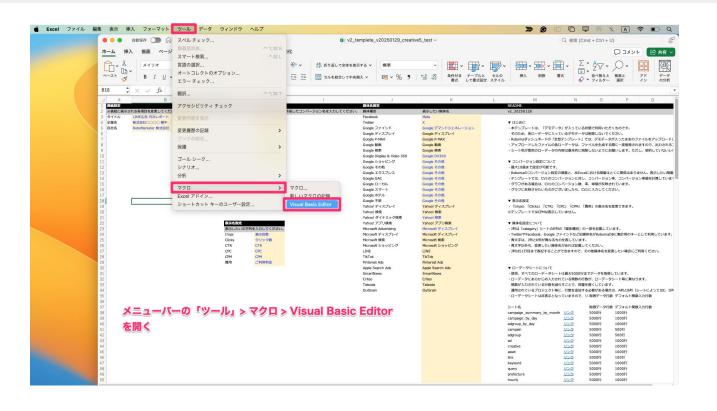
# 7.マクロの利用方法 MACバージョン

**Excel Tips** 





● メニューバーの「ツール」から、「マクロ」>「Visual Basic Editor」を選択

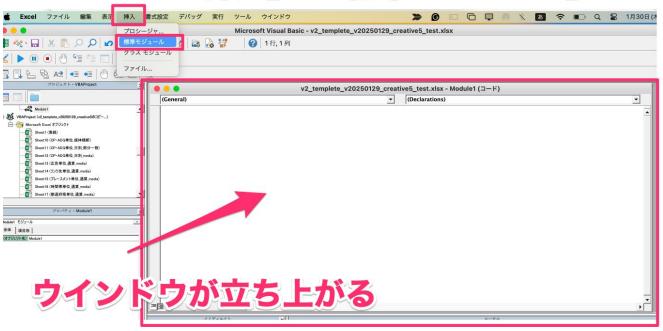






● メニューバーの「挿入」から「標準モジュール」を選択後、ウィンドウが表示

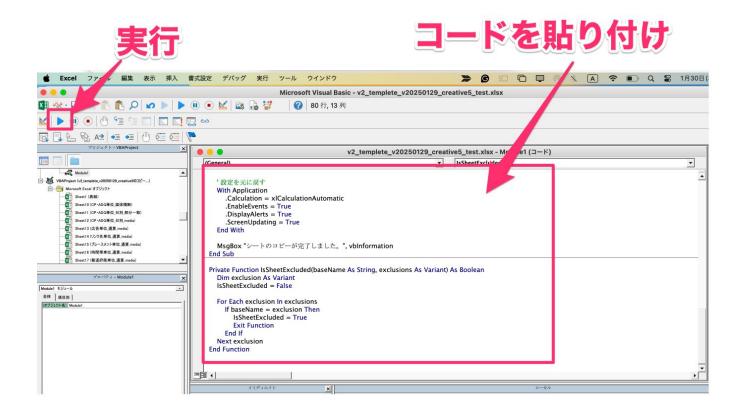
# メニューの「挿入」>「標準モジュール」







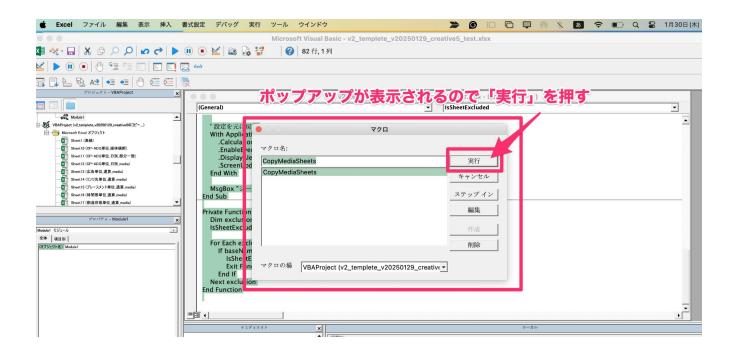
ウィンドウにコードを貼り付けて、「実行」ボタンを押す。







ポップアップが表示されたら「実行」を押す







• プログラムが完了したら「完了しました」と表示されるので、表示されたら完了







# 8.トラブルシューティング

**Excel Tips** 

# 数値が反映されない場合の対処法 原因:保護ビューとなっている





- 保護ビューになっており、エクセル(Windows 版)側のセキュリティ対策が原因と考えられます。
- 以下の対処法をお試しください。

### 以下の手順で設定変更をお試しください。

- エクセルの【ファイル>オプション>セキュリティセンター】を開く
- 【保護ビュータブ】にて保護ビューに関する以下3つのチェックを外す

	インターネットから取得したファイルに対して、保護されたビューを有効にする
	安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護されたビューを有効にする①
	インターネットから取得したファイルに対して、保護されたビューを有効にする 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護されたビューを有効にする① Outlook の添付ファイルに対して、保護されたビューを有効にする①

-	→ :  - Δ 挿 X	ページレイアウト	数式 デ	-9		サンブルデータ(会 F、 アドイン	ay Emma						サインイン	
保護ビュー	注意(1)	ンターネットから入手した	ファイルは、ウイ	ルスに感	染している可能	8性があります。編	集する必要がなり	this. G	雄ピューのままにしておくことも	お飲めします。 編	集を有効に	する(E)		
	1 ×	√ fx												
A	В	С	D	E	F	G	н	1	3	K	L	M	N	
スポー	ツ用品	売上表												
先上管理									商品一覧					
云票番号	日付	商品名	単価	数量	支店	担当者	売上金額		商品名	売上金額				
1	4/1	テニスラケット	18,000	10	ナタリー	松岡修三	180,000		ウェア	12,800				
- 2	2 4/1	グローブ	13,000	15	駅前	ロペス金本	195,000		グローブ	13,000				
- 2	3 4/2	ゴルフクラブ	80,000	4	パセーラ	丸山茂樹	320,000		ゴルフクラブ	80,000				
- 4	4 4/2					2 2000 2000			シューズ	9.800				
	1								テニスラケット	18.000				

# 画像が反映されない場合の対処法





- クリエイティブレポートにおいて、画像が表示されない場合、シートの計算に時間がかかっていることが原因と考えられます。
- 以下の対処法をお試しください。



### Mac の場合

シート左下の「再計算」ボタン、 または fn + F9キーを押してください





### Windows の場合

F9キーを押してください



# エクセルの挙動が重い場合の対処法\_1





- エクセルには複数の自動チェック機能があり、シート数や数式が多いとそれらの計算が常に実行されることになり、パソコンの性能によっては挙動が遅くなることがあります。
- 以下の3つのすべてを設定することで、一定挙動が改善されます。

### ①計算方法を手動にする

- 環境設定>計算をクリックします。
- 計算方法の設定で「手動」にチェックを入れます。
- この設定により数式編集中は自動的に計算が実行されませんので、都度計算を行う場合は「数式」タブの「再計算実行」か「シート再計算」から行ってください。詳しくは Microsoft のヘルプをご参照ください。



### ②エラーチェックを外す

- 環境設定>エラーチェックをクリックします。
- 「バックグラウンド エラー チェックを有効にする」 のチェックを外します。
- すべてのチェックを外すのが困る場合には、「隣接する数式に一致していない数式」だけでもチェックを外します。
- 詳しくは Microsoft のヘルプをご参照ください。

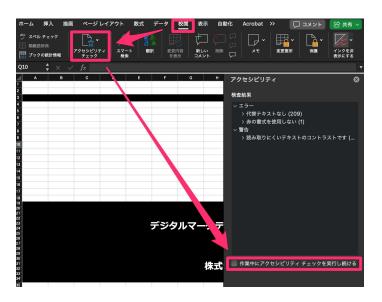






### ③アクセスビリティチェックを外す

- 較閲>アクセスビリティチェックをクリックします。
- 「作業中にアクセスビリティチェックを実行し続ける」のチェックを外します。
- 詳しくは <u>Microsoft のヘルプ</u>をご参照ください。







## ファイルが破損する場合の対処法

修正したテンプレートで出力したレポートが破損する場合には、修正する箇所を最小限にしていただくか、 テンプレート内の「クリエイティブ単位」レポートを削除して試してみてください。

Excelのファイル間でシートをコピーした際に、コピー元のシートを参照したままになっていることがあります。ファイル間でのシートの移動は極力行う場合は、関数を修正する必要があります。次項をご参照ください。

# 別のExcelのシートをコピーして利用する場合の関数の対処法



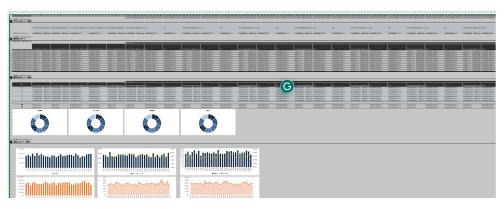


- エクセルには複数の自動チェック機能があり、シート数や数式が多いとそれらの計算が常に実行されることになり、パソコンの性能によっては挙動が遅くなることがあります。
- 以下の3つのすべてを設定することで、一定挙動が改善されます。
- 1) メニュータブ>数式、から「数式の表示」を選択します



- 2)数式が表示されたら、A1セルから、数式が入っている範囲を全てコピーします
- 3)テキストエディットアプリに数式を全て貼り付けます テキストエディタはVisual Studio Codeなどでも OKです。
- 4)新しいファイルの同じシートにコピーした数式を貼り付けます

上記を実行することで、ファイル間の参照が解消されます。 コピー&ペーストの際は、関数の範囲にご注意ください。



# シート間を簡単に移動する方法





- エクセルでシートが多くなるとシート間の移動が面倒に感じることがあります。
- Mac 版では「option + ←/→ キー」、Windows 版では「Ctrl + PageUp/PageDown キー」で シート間を簡単に移動できます。



### Mac の場合

option  $+ \leftarrow / \rightarrow + -$ 





### Windows の場合

Ctrl + PageUp/PageDown ‡-



# \ contact us /



オリジナルの媒体の組み合わせテンプレートの作成や カスタマイズのご相談は カスタマーサクセスまでお問い合わせください。

success@robomarketer.net